



学力向上セミナー | レポート

2025.5.30



標準学力検査分析

結果を生かして

自校の資料から、小問分析をしました。子供の実態を把握して、具体的に授業でどのような学習指導をすればよいのか、付箋に書き出し、教科書に貼っていました。参加した先生は、「自校の先生方に分析結果を伝えて、授業改善を促進していきます。」ある先生はリフレクションで「標準学力検査結果一覧表から、解答率が低い問題を、教科書ページに付箋をつける方法は、課題が焦点化され、教材研究に活かすことができると思いました。付箋の色を年度で統一し、3年間のスパンで検証してみたいと思いました。」と述べていました。このように、内容を発展させていこうとする先生方の姿がありました。

分析の具体

問題7(2)

1次関数 $y = \frac{2}{3}x - 2$ のグラフをかきなさい。

解答類型		反応率(%)	
		校内	釧路市
1	正答	52.4	73.2
2	グラフの傾きは間違えているが、切片は正しい場合	23.8	9.7
3	上記以外の解答	14.3	9.2
4	無解答	9.5	7.9

例えば、中学校数学「7(2)」の問題では、ある学校では、全国より正答の割合が低い分、解答類型「2」の解答をした子供の割合が多い傾向にありました。そこで、その理由を教科書を読んだり、授業内容を振り返ったりして探っていました。

感想より

ある先生は感想で、「教科書に付けた付箋を、学校の先生方にも同じように教科書に付けてもらい、教科部会の際に指導の重点を共有するようにしたい。来週の指導に関係する内容もあったため、すぐに動こうと思う。」と述べていました。釧路市全体で子供のよりよい成長につなげられるよう協力していきましょう！

コレ勉強になります

具体的な算数・数学の授業改善の例として、令和6年度釧路教育研究センター学習指導・開発研究グループが作成した授業づくりについてのリーフレットが、HPに掲載されています。ぜひ、ご活用ください。

